

武田 城下町

タイムスリップ コース

甲斐府中の古道を歩く「戦国時代」

(表示の時間は移動時間の目安です。※見学時間含みます)

人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり



信玄は戦に対する考え方も独特で、その後の治世まで考慮し、「相手を壊滅的にする勝利はかえって良くない、5から6割くらいの勝利がベストである」と言い残しています。相手の兵や民の意識まで深く考える武将だったのです。

一年中参詣の方が絶えません



百名城

躑躅が崎館跡(現・武田神社)

(つつじがさきやかたあと) その名の通りツツジがいっぱいの里でした。永正16年(1519)信玄の父・信虎が石和からこの地に居館を移しました。館の中心は、現在の武田神社となっています。宝物殿には館の復元模型や縄張り図をはじめ、武田氏ゆかりの文化財が展示されています。●日常生活を送る館ですが、信玄の時代には増設が行われ、特殊な形態の門や堀などの防御施設も築かれて、戦国大名の居館の中でも最大級の規模となりました。宝物殿DATA ●9:00~16:30 ●300円



前スポットから 5分 **古八幡神社**(ふるはちまんじんじゃ) 源氏の守護神としての勧請 鎌倉の鶴ヶ岡八幡宮を勧請したもので、信虎によって石和から躑躅が崎館西側に移されました。その後、時代とともに移転し、現在、峰本自治会館に祀られています。



前スポットから 28分 **松木堀**(まつきぼり) 躑躅が崎館のなごり 武田氏滅亡の後、躑躅が崎館の防御のために増築された梅翁曲輪(ばいおうくるわ)を囲むお堀。その一部が今も残っています。



柳小路(やなぎこうじ) 現在の武田神社に続く武田通り 武田通りの中ほどに位置した柳小路は、戦国時代に有力商人が住んだ町。春は沿道に桜並木が続きます。

紺屋小路(こんやこうじ) 紺掻きと呼ばれた染物職人が集められた町で、大泉寺小路の南に続いています。

大泉寺小路(だいせんじこうじ) 南北基幹道路のうちの一つ。城下町の最も東側に位置していました。信虎の菩提寺・大泉寺の脇を通るためこの名がつけられたそうです。

※甲府駅北口から武田神社まで路線バスがあります ●各ポイントともPマークの無い所は駐車場はありません Pマークは有料駐車場です



前スポットから 3分 **西昌院跡(六角堂)**(さいしょういんあと) 勝頼ゆかりのお地蔵さんがかわいい 武田勝頼が建てた、信虎の側室(または信玄の姉)の菩提寺跡。今は六角堂だけが残っていて、お堂の中にはお地蔵さんが三体安置されています。



ここまで 10分 **満蔵院**(まんそういん) 信虎の夢のあと 信虎が霊夢を感じて像を造り、建立した清水寺が前身です。その後、信玄が毘沙門堂をこの寺に移して改称(信玄の祈願寺)。境内にある石造りの狛犬は市内最古のものです。

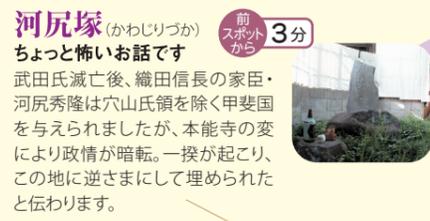


武田信玄公像(甲府駅北口) 戦国最強と呼ばれた武田騎馬軍団を率いた甲斐国(現・山梨県)の戦国大名。 **スタート 166分コース** (滞在時間は含まれません)

ちょいメモコラム **おぼえどろ** 甲府という名の由来は? 甲斐国の府中を略して「甲府」。信玄の父・信虎が居館を石和(川田)から躑躅が崎に移した際に命名しました。ですが実際にこの呼び方が定着したのは信玄の時代です。



前スポットから 2分 **武田氏館跡歴史館(信玄ミュージアム)**(たけだしやかたあとれきしかん) 史跡武田氏館跡の歴史やこれまでの発掘調査の成果などを紹介する施設です。館内には、展示室や学習室のほか、飲食コーナーがあります。毎月第3土曜日には、「武田の館市」マルシェが開かれます。 DATA ●055-269-5030 ●9:00~17:00 ●火曜(祝日の場合はその翌日)、12月29日~12月31日 ●個人:300円 団体(20名以上):240円 高校生以下:無料



前スポットから 3分 **河尻塚**(かわじりづか) ちょっと怖いお話です 武田氏滅亡後、織田信長の家臣・河尻秀隆は穴山氏領を除く甲斐国を与えられましたが、本能寺の変により政情が暗転。一揆が起こり、この地に逆さまにして埋められたと伝わります。



前スポットから 18分 **円光院(信玄正室墓所)**(えんこういん) 甲府を見渡す特別な場所 信玄の奥方、三条夫人のお墓があります。彼女は運命に翻弄された戦国女性の代表格ですね。境内には写真のような珍しい掲示板も。ちなみにこの「西方~」は、かの「心頭滅却すれば火自ずから涼し」の一文で、有名な恵林寺(甲州市)の快川和尚の作です。 ●夫人は京都の公家の娘で今川義元の嫡裔により16歳の時に信玄と結婚しました。甲府盆地の眺めは素晴らしく、また、春は桜が見事です。



前スポットから 5分 **武田信玄火葬塚**(たけだしんげんかそうづか) 信玄最初のお墓 信玄の遺骸が最初に収められていた場所。彼は最期に3年間の秘喪を命じ、勝頼はそれを守って3年後に恵林寺にて葬儀を執り行いました。わずか53歳の生涯でした。

前スポットから 22分 **大泉寺(武田信虎墓所)**(だいせんじ) 直線美、建築家の方、デザイナーの方必見 信玄の父・信虎が自ら開基したお寺。本堂左奥に墓所があり、門や石畳などのデザインがなかなか特徴的で面白いのでぜひ。境内の東側には夢山稲荷もあります。 ●信廉による父・信虎の肖像画をはじめ、多くの文化財が残っています。最近ではパワースポットとしても有名に。



前スポットから 15分 **華光院**(けこういん) 上の太子堂から南アルプスが一望できます 信虎が建てた荒神堂を、信玄が現在地に移して真如山華光院良林寺と名づけ、祈願所としました。山梨県には数少ない真言宗のお寺です。



前スポットから 15分 **華光院**(けこういん) 上の太子堂から南アルプスが一望できます 信虎が建てた荒神堂を、信玄が現在地に移して真如山華光院良林寺と名づけ、祈願所としました。山梨県には数少ない真言宗のお寺です。



前スポットから 20分 **愛宕神社**(あたごじんじゃ) 鬼門が怖かったんですね 元は武田氏居館の北東に鎮守として祀られていましたが、甲府城の鬼門除けに現在地へ移されました。



前スポットから 15分 **長禅寺(信虎正室墓所)**(ちやうぜんじ) 母を近くに...名将も人の子 信玄の母・大井夫人の菩提寺。もともと鮎沢(現南アルプス市)にあったものをこの地に新たに創建し、鮎沢の方は古長禅寺となりました。武田信廉が描いた信虎夫人像が保存されています。



前スポットから 15分 **ゴール** **武田信虎公像(甲府駅北口)** 武田信玄の父。館を現在の武田神社の場所に移しました。



前スポットから 15分 **ゴール** **武田信虎公像(甲府駅北口)** 武田信玄の父。館を現在の武田神社の場所に移しました。

